

令和5年（2023年）夏の平和展実施要項案

1 テーマ 「本渡・楠浦空襲と天草の軍人像」

2 開催趣旨

昭和20年（1945年）太平洋戦争末期の7～8月にかけて、天草市本渡は沖縄から出撃した米極東航空軍の陸上機による空襲を受けました。対象となったのは楠浦町で戦時標準船を建造していた「熊本造船所」でした。8月14日の同造船所への空襲では、所員が2名亡くなり、攻撃をした米軍機P51も日本側の対空射撃で撃墜され、搭乗員ブルマン中尉も亡くなりました。また、本渡高等女学校生徒の空襲の被害を受け、米軍機からは日本側に降伏を促す紙の爆弾「伝単」も撒かれました。まさに、戦争の加害と被害が重なり合う様相を示す本渡空襲です。

一方では天草市栖本町には、御領の凝灰岩を利用し、日中戦争を亡くなられた家族を慰霊する「軍人慰霊像」が多く建立されています。戦没者を慰霊する像を、下浦石場等を中心とするの石工達が生前を生き写した像で、今も慰霊の思いを伝える像です。

戦後78年が経過し、戦争の記憶がうすらぐ中、ウクライナでの平和を願い「戦争の悲惨さ」と「平和の大切さ」を考える機会としたいと思います。

3 会期・日時

(1) 展示会 令和5年7月22日（土）～9月3日（日）まで

(2) 第4回くまもと戦争遺産の旅見学会・証言会
令和5年（2023年）8月9日（水）

4 場 所 天草市立本渡歴史民俗資料館 天草市岩今窯新町3706番地
電話 0969-23-5353

□展示会：2階 学習室

□証言会：同 展望室

※くまもと戦争遺産の旅参加者を対象

5 主 催 天草市立本渡歴史民俗資料館

6 協 力 □くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷和生
□旅のよろこび株式会社 代表取締役 宮川和夫

7 概 要

(1) 展示会・展示資料

ア 本渡・楠浦空襲関係

□展示資料・現物 五色島の松の木に刺さった「墜落米軍機破片」、船板への機銃弾貫通孔木材、米軍機機関銃弾、米軍爆弾片、機銃弾オブジェ、空襲関連戦時画報三種、日本空襲関係「伝単」十二種 ※現物、各種の伝単複製資料

□展示資料・パネル等 本渡・楠浦空襲現地解説パネル、証言パネル（ ）枚 他

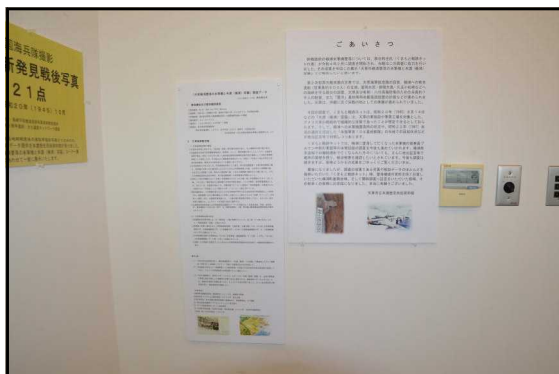


写真1 令和3年・2022年平和展の開催挨拶、展示概要 等

写真2 令和3年度本渡（楠浦）空襲の展示コーナー（米軍機破片、船板貫通孔有り、米軍機機関銃弾、戦時画報、日本への空襲「伝単」）

イ 天草軍人像関係

※別紙エクセル表「天草島内の軍人像一覧」を参照のこと

☐ 展示資料・現物

☐ 展示資料・パネル等

御領石（凝灰岩）現物

山崎家（福江家）軍人像、福原家軍人像、玉田家軍人像、前田家軍人像、本多家軍人像、
太田家軍人像、林辺家軍人像、大山巖軍人像の各3枚程度 計（ ）枚

☐ その他 分布パネル図、一覧表、概要

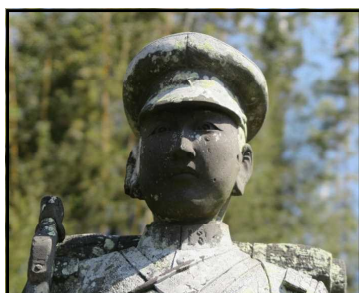


写真3 栖本町両性寺墓地内で海を臨む墓所にたたずむ
軍人像二体

写真4 軍衣や軍帽を着用し、小銃等を持つ山崎家（福
江家）軍人像の全身像

写真5 同上胸部までの拡大（歩兵十三聯隊襟章、上等
兵肩章、胸の徽章）

（2）証言会 本渡・楠浦空襲の証言

☐ 本渡・楠浦空襲の当時証言者として天草市楠浦町在住「大平俊勝さん（敗戦時3歳）」により父親や親族等から聞いた「8月14日楠浦空襲当時様子」「墜落機米兵遺体回収の様子」の証言、「長崎原爆への思いと平和への願い」を予定

☐ その他



写真6 港の護岸より墜落した米軍機の位置
を指し示す「大平俊勝さん」

証言 3

お母ひとしあつ 大平俊勝（昭和17年生）楠浦町

「墜落地点は、五色島と船津港の間で、水深が深かったことから、船津の漁師が網を打って機体は蛸子の浜海岸に引き上げた。また乗員の遺体も操縦席から網で上げた。」

「墜落機には、操縦席に遺体そのままだけ、大きな損傷はなかった」という。

「墜落時には、船津港停泊の船舶のマストに機体を引っ掛け『水平尾翼』が現地に落下した。落下後、尾翼は近くの防空壕内に置かれていたが、金属として売られたようだ」

「進駐軍が遺体を引き取りに来たとき、その様子を見に行った。米兵は4～5人いた。」

「村長をはじめ村幹部は10名ほどおり、紋付き袴の姿で対応した」

「実ヶ浦の無縁墓から遺体を掘り起こし、米兵の遺体は担架に乗せられ、里道を通り村の巡査の家にいったん運ばれた」

「楠浦の熊本造船所への機銃掃射は、計4回ほどあったと記憶している」

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク／高谷和生氏調査



連絡先
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生
〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
HP URL http://www.kumamoto-senseki.net/

〔 参考資料 令和4年度実施分 〕



写真7・8 令和3年度本渡歴民での見学会参加者による展示会見学の様子
写真9・10 見学会での様子 天草海軍航空隊慰霊碑への慰霊 残されたスリッパ

天草市楠浦墜落の
米軍機と本渡（楠浦）空襲

米海兵隊撮影の新発見写真「天草海軍航空隊基地等の写真」21点も展示

昭和20年8月14日機墜の五色島外に墜落したP-51D型同型の機体

天草海軍航空隊基地を海上から見る
昭和20年10月（米海兵隊撮影）

本渡歴史民俗資料館コーナー展
展示期間 令和4年7月23日（土）～10月2日（日）

遺留米軍機2号機台を米軍が機破している状況/昭和20年10月18日（米海兵隊撮影）

機破の場に砂浜中機破機材を改修
米軍機と残る機破の機材（自衛隊所蔵）

戦中の飛行機の破片
墜落米軍機機体の破片が突き刺さった
機破機五色島の松
（機破機センター所蔵）

協力 くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷和生
天草市立本渡歴史民俗資料館
〒863-0015 天草市本渡町370番地
☎0969-23-5353

《第3回》
くまもと戦争遺産の旅
本渡空襲と天草海軍航空隊をめぐる

昭和十九年三月、
天草市佐伊津には熊本県で唯一の
水上機専用の航空隊が開隊され、
搭乗員訓練が始まりました。
ただ、翌年五月からは、戦局の悪化にともない、
計八機の零式水上観測機が沖縄へ特攻出撃し、
当地と合わせて本渡も、
米軍機の空襲にあいました。
天草に残る戦争の傷跡にふれ、
非戦への思いをつなげます。

昨年度開催チラシ二種
左：本渡歴民「天草市楠浦墜落の米軍機と本渡（楠浦）空襲」展 右：第3回くまもと戦争遺産の旅